

教科書採択に関わる「選定の観点」について

各教科の教科書を選定するに当たって、視点の共通性の担保を図るため、基本方針から各教科の教科書選定につなげる「選定の観点」を設定し、選定の視点の根拠を明確にする。

教科書採択に関わる基本方針について	選定の観点	
1 学習指導要領の趣旨に則し、各教科の目標の達成に適したものであること。	①	基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる
2 京都市の学校教育の基本方針、教育課程の内容、構成、授業時数、編成・実施上の配慮事項等を示した「京都市立高等学校教育課程編成要領」（令和元年9月策定）に則したものであること。	②	思考力・判断力・表現力等を育成することができる
3 京都市が目指す子ども像である「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」の育成に資するものであること。	③	学習意欲・人間性を養うことができる
4 一人一人の子どもの各教科で育むべき資質・能力の育成に向け、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性の涵養を目指した学習活動の充実に寄与するものであること。	④	言語活動を効果的に取入れている
5 基本的人権の尊重の視点に立ち、人権文化の担い手を育成するとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うものであること。	⑤	生涯にわたって学び続ける力を育てることができる (問題解決的な学習・探究能力の充実)
6 一人一人の子どもの各教科で育むべき資質・能力の育成に向け、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性の涵養を目指した学習活動の充実に寄与するものであること。	⑥	各教科独自の観点・他教科等と関連性がある
7 基本的人権の尊重の視点に立ち、人権文化の担い手を育成するとともに、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うものであること。	⑦	基本的人権の尊重・道徳性を養うことができる